

# 社会貢献

本業を通じたCSR活動を展開するとともに「よき企業市民」として豊かな社会の実現に貢献します。

## 社会貢献活動基本方針

1. 世界の人道的課題  
グローバルに事業を行う企業として、世界における人道的課題に積極的に関わり、豊かな国際社会の実現に貢献します。
2. 環境保全  
環境保全活動を積極的に行い、社会の持続的な発展に貢献します。
3. 地域貢献  
よき企業市民として地域社会との良好な関係を構築し、地域社会との共生を図ります。
4. 次世代育成  
次世代を担う青少年の健全な育成を支援する活動を行い、心豊かで活力ある社会の実現に貢献します。
5. 社員へのボランティア支援  
社員一人ひとりが行う社会貢献活動を積極的に支援します。

## 東日本大震災復興支援

### 長期的な支援活動に向けて

東日本大震災発生に際し、伊藤忠商事は、発生直後から4億円の義援金拠出をはじめ衣料、食料品等の緊急支援物資を被災地に提供してまいりました。

2011年5月から、社員がボランティア活動に参加しやすくするため、ボランティア休暇を3日から5日に拡充し、交通費 / 現地滞在費等を会社が補助する制度を実施し、2012年6月末までに延べ120人が利用しました。また、社内イントラネットに「東日本大震災復興支援サイト」を立ち上げ、ボランティア活動に関する情報や参加した社員ボランティアのレポートを掲載し、長期的な支援活動に向けた社員の意識共有を行っています。

### 参加社員ボランティアレポート (抜粋)



ボランティアメンバーと

伊藤忠ケミカルフロンティア(株)出向  
安良 雄一 (2012年2月参加)

「おかげさまで物資は足りている。足りないのは継続的な人的支援。最初のうちは本当に大勢の人が来てくれたが、時間とともに減ってしまった。

復興までの道のりは遥か彼方で、今のままでは何年かかるか予測すらできない」…今回お聞きした陸前高田や気仙沼の人達の声だった。人手=我々が等しく持っている最もベーシックなものが、今一番必要なのだ。会社の同志がお互いに信頼のもと結束し、ひとつの仕事に取り組んだときのパワーは、間違いなく計算上の人力を超える。またぜひ参加したい。

## 伊藤忠記念財団による次世代育成

伊藤忠商事は、1974年に設立した公益財団法人伊藤忠記念財団を通じて、「次世代育成」の支援を続けています。

### 子ども文庫助成事業

「子ども文庫助成事業」では、2011年度は通常の子どもの本購入助成や、子どもの本100冊助成等に加えて東日本大震災の被災地にも緊急支援を行いました。また、国内のみならず海外の日本人学校 / 補習校にも積極的に文庫助成を行い52校に支援を実施しました。

### 電子図書普及事業

2010年度より、通常の書籍を読むことができないさまざまな障害のある子どもたちがパソコン等を利用し、更に読みやすくなるように様式を変更できる「電子図書普及事業」を行っています。2011年度は、38作品を全国約500か所の特別支援学校等に無償提供しました。

## ボルネオ島の熱帯林再生及び生態系保全プログラム

2009年から公益財団法人世界自然保護基金ジャパンと協業し、ボルネオ島での熱帯林再生及び生態系の保全プログラムを実施しています。伊藤忠グループは967haの再生を支援するもので、2011年12月末時点で432haの植林が完了しています。

## キッズニア東京に環境保全を学ぶ場を提供

2012年4月から、子ども向け職業・社会体験施設「キッズニア東京」に持続可能な循環型社会の構築を目指すMOTTAINAIキャンペーンの活動内容を通じてグローバルな視点で環境保全を学ぶ場として「エコショップ」パビリオンを提供しています。また、子どもの参加1人につき、植林用の苗木1本分の費用をケニアの植林活動である「グリーンベルト運動」に寄贈します。



マイ風呂敷、エコバッグ、マイ箸づくりを通して楽しみながら環境を学ぶ